

## 第12回埼玉県ディスコン・オープン大会の結果報告

例年この大会は秋に開催していますが、今年は9月に仙台で全国ディスコン交流大会が開催されるため、春の開催となりました。また今年は、横瀬町でディスコンが始められて10周年の節目にあたり、横瀬での開催となりました。

開催日時：令和元年5月26日（日）10：30～16：30

開催場所：横瀬町スポーツ交流館

参加チーム：32チーム（1チーム3名編成）

参加人数：競技者94名、スタッフ8名、合計102名

競技方法：コート8面（5m×10m）を使用し、1チーム合計6試合を行いました。

1試合13分間の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち点は3点、引分けは1点、負けは0点とし、6試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定します。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、1年に1回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競います。

②この大会は第32回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、埼玉県知事の表彰状が県から交付されました。また、埼玉県レクリエーション協会から補助金交付も受けました。

③オープン大会として、会員外及び埼玉県外からも参加を募りました。

参加チーム：地元の横瀬支部8チーム、隣町の長瀬支部7チーム、さいたま支部6チーム、所沢支部3チーム、川口支部2チーム、所沢・川口合同1チームに加え、川越市から1チーム、彩の国いきがい大学1チーム、以上県内チームは合計29チーム。県外から3チーム（東京練馬2チーム、関西1チーム）合計32チームが参加しました。なお、欠員のあった2チームには、スタッフが補充に入り全チーム3名編成としました。

開会式：松本事務局長の開会宣言で始まり、山田会長から上記の大会趣旨が説明され、県外参加チームと大会役員の紹介がありました。

来賓としてご出席頂いた横瀬町の井上副町長からご挨拶を頂戴しました。

前回優勝のさいたま支部Sチームから優勝杯が返還され、さいたま支部鷹巣光子選手から力強い選手宣誓がありました。



磯副会長から上記競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコンディスコン交流協議会発行の普及啓発ブックのルールを採用し、キャプテンは本大会中他の人と交代できないことや、主審はインストラクターのみが行う（インストラクターがいないチームの主審はスタッフが行う）等の説明がありました。

埼玉県の大会としては初めてのアトラクションが披露されました。横瀬チーム女性有志による秩父音頭踊りの後、横瀬下郷東太鼓メンバーによる秩父祭囃子の演奏がありました。大太鼓、小太鼓、笛、鉦の勇壮なリズムに参加者一同圧倒され、感動の拍手喝采で盛り上がりました。



競技内容：準備体操の後、練習投球は行わず試合に入りました。

午前中に4試合、昼食休憩を挟んで午後には8試合を行いました。試合結果は都度スクリーンに表示され、各チームは自チームの位置を確認しながら試合に臨みました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。

上位入賞：優勝 さいたま支部 S チーム（6戦全勝、勝点18点）

優勝したさいたま支部 S チーム（選手：鷹巣、中川、池沢）は、見事に3連覇を遂げ、優勝カップ・個人別賞状・賞品が授与されました。





準優勝 横瀬支部 B チーム (5勝1分け、勝点16点)

チーム賞状と賞品授与 (選手: 町田留吉、町田正雄、町田ケイ子)

第3位 さいたま支部 A チーム (5勝1敗、勝点15点)

チーム賞状と賞品授与 (選手: 石田、布瀬、森山)



賞品授与: 上位3チームの他に5位、10位、15位、20位、25位の飛び賞とブービー賞が授与されました。

また、参加賞が全員に渡されました。

閉会宣言: 審判長を務めた町田副会長から講評の後、9月に仙台で開催される全国ディスコン交流大会とバス旅行の案内状が配布され、山田会長から多数参加の要請がありました。

下の写真は、開会式後の集合写真です。



なお、大会前夜には所沢駅近くの所沢パークホテル1階で懇親会が開催され、ディスコン談義に花が咲きました。(出席者は、関西3名、地元所沢4名の合計7名)

また、横瀬では当日17:30より「反省会」と称する「打ち上げ会」が開催され、参加メンバーの大部分が出席してカラオケで大いに盛り上がりました。(山田も仲間入りさせてもらい楽しいひと時を過ごしました)

(山田記)